

保健所運営協議会開催結果報告書

令和5年度	日時	令和5年7月4日(火) 午後2時～午後3時30分	出席者	委員	21名	協議 役員 会名	会長	水野 謙二
	場所	大阪府泉佐野保健所 講堂		職員	14名		副会長	田代 堯
			傍聴者	0名	副会長		石本 喜和男	
議 事	議事の要点	委員の意見	保健所の回答			付記		
1.保健所事業の概要について	○事業運営について説明							
2-1.新型コロナウイルス感染症対応について 2-2.新型コロナウイルス検査について	○事業運営について説明新型コロナウイルス感染症対応について3年間を振り返り説明 ①第1～8波の状況と保健所の対応 ②5類感染症への位置づけ変更後の対応、健康危機管理事象の備え ③大阪府における検査体制の概要遷移	・大阪府の死者数が他府県に比べて非常に多いことについての分析をお願いしたい ・大阪府の保健所と各市町には自治体間の垣根があり、感染症対応についてのやりにくさがあった ・陽性者対応等について、保健所にはかなり労力をかけ大変な思いをされたことに対して感謝	新型コロナウイルス感染症対応の課題やポイントを踏まえ、より良い感染症対策、療養支援を行えるように努める					
3.泉佐野保健所における災害対応について	○発災時の保健所における体制や役割の説明および災害訓練等への参加について依頼	・過去の他府県での発災時、現地の保健所はどのような役割を担うことになるのかを教えてください ・関係機関間もしくは災害対策本部間の情報共有や連絡、連携をどのように取っていくのか	救助活動や保健医療活動、公衆衛生活動等に従事する。大阪府で発災した場合は他府県から救助部隊等が保健所および保健センターに派遣されることになる。コロナ禍を経験し、大阪府としても通信体制が整備され、WEB会議が行えるようになった。また普段から顔の見える関係を作り連携強化を図りたい 過去の発災時の対応課題を踏まえ、管内の市町、医療機関、三師会等関係機関に連携強化のお願い					
4.その他		・関西国際空港が近い保健所が感染症対応だけでなく、災害対応、テロ対策の観点から非常時に人が足りないという状況だけは避ける。そのための機能充実を図っていくべき						